



社会貢献活動の推進

良き企業市民として地域・社会の持続的発展に貢献するとともに、自らも成長することを目的に、「安全・安心」「人づくり」「地域・社会の活性化」「環境」を重点テーマとして、経営資源（ヒト・モノ・ノウハウ等）を生かした社会貢献活動にグループ一体となって取り組んでいます。

被災経験の継承

震災資料保管庫は「地震で失ったもの、伝えるべきもの、そして生かさなければならないもの」をコンセプトに、阪神・淡路大震災の被災構造物を展示しています。また、地震発生から全線復旧まで、623日間の緊迫した時間と関係者の対応を伝える展示、震災を教訓にした新技術なども紹介しています。阪神高速グループの安全・安心の原点を見つめ続けるための礎にするとともに、専門技術者や教育関係者だけでなく一般公開を行っており、多数のお客さまにもご来館いただいています。



震災資料保管庫案内の様子

外部団体との連携・協働による環境貢献活動

JBE（ジャパブルーエコノミー技術研究組合）で試行されているブルーカーボン・オフセット制度を活用し、大阪湾岸道路西伸部周辺で海洋生態系の育成・保全活動に取り組むプロジェクトを対象に販売された「Jブルークレジット」を当社として初めて購入しました。

また、3号神戸線若宮出入口近くの須磨海岸においてNPO法人が定期的実施しているビーチクリーン活動に、大阪湾の海洋環境保全の取り組みの一環として阪神高速グループも参加しました。



Jブルークレジット
購入証書



砂浜清掃ボランティア活動

VOICE

市民団体との協働で明るい未来を!

私たちの周りには社会課題が多数存在しており、社会全体で課題を解決し、持続可能な社会を実現していくことがより一層求められるようになってきました。そこで、阪神高速グループでは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対して助成を行う「阪神高速 未来（あす）へのチャレンジプロジェクト」を2021年4月から実施しています。

このプロジェクトを通じ、市民団体の皆さまの熱い思いやそれぞれの取り組みが社会にとって不可欠であることを実感しました。プロジェクトでの出会いをきっかけにして得たつながりを継続し発展させていくことで、これまで取り組んでいなかった分野にもチャレンジするなど、相乗効果を発揮できればと考えています。



経営企画部
サステナビリティ推進室
河合 陽平